

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	(独) 航空大学校施設整備費		担当部局庁	航空局安全部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	運航安全課		島村 淳			
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、ハイジャック・航空機テロ防止を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人航空大学校法第3条)		関係する計画、通知等	独立行政法人整理合理化計画 (平成19年12月24日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人航空大学校法(平成11年法律第215号)に基づき、平成13年4月1日に設立された独立行政法人航空大学校の施設整備に必要な経費。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第3期中期計画に基づく、独立行政法人航空大学校の目的の確実な達成のため、必要となる施設及び設備に関する計画により、施設の整備を実施。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	103	73	132	93	177		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	△ 31	31	-	-	-		
	計		72	103	132	93	177		
	執行額		72	55	83	-	-		
執行率 (%)		100%	53%	63%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	航空大学校仙台分校屋上及び外壁補修その他工事 航空大学校学生寮室照明器具交換等工事			成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	宮崎本校、帯広分校、仙台分校の3箇所において、業務を効率的且つ円滑に実施するため、施設整備事業を実施する。 (平成24年度 宮崎本校3件、仙台分校3件)			活動実績 (当初見込み)	件	6	6	6	-
							( )	( )	
単位当たりコスト	13.8 (百万円/件)			算出根拠	契約額/工事等契約件数 83百万円/6件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	施設整備費補助金	93	177	必要性及び優先度に関して十分な精査を行ったが、平成26年度に実施する施設整備の規模が大きいことから増となった。					
計	93	177							

事業所管部局による点検					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、国民生活、社会経済活動にとって不可欠な航空運送事業の健全な発達、航空輸送の安定的確保の基盤となる操縦士の安定的な養成であるため、極めて優先度の高い事業であり、独立行政法人通則法第46条の規程に基づき、国が必要な経費を交付するものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は、第3期中期計画(平成23年～27年度)に施設及び設備に関する計画として真に必要なものに限定されており、契約にあたっては、一般競争入札等により競争性を確保することによりコスト削減に適切に対応している。 平成24年度の不用率は、東日本大震災後における工事価格の変動や一般競争入札の実施により契約額が低価格となったことが要因となっているが、第3期中期計画に定められた当該年度の全事業が滞りなく実施されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	第3期中期計画に定められた平成24年度の全事業が滞りなく実施されており、操縦士の安定的な養成に寄与している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	航空大学校は中期計画に定める施設整備について着実な整備を実施しており、契約にあたっては、一般競争入札等により競争性を確保することによりコスト削減に適切に対応している。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	第3期中期計画において、平成25年度に実施する施設整備の必要性及び優先度に関して十分な精査を行っており、引き続き教育訓練業務に支障を与えない範囲で、真に必要なものを精査して施設の補修等を行い、コスト縮減に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	第3期中期計画において、平成26年度に実施する施設整備の必要性及び優先度等に関して十分な精査を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	407	平成23年	378	平成24年	402

※平成24年度実績を記入

国土交通省  
83百万円  
(航空大学校の運営に必要な経費)



【交付】

A. (独)航空大学校  
83百万円  
航空機の操縦に関する学科及び  
技能を教授し、航空機の操縦に  
従事する者を養成すること並び  
にこれらに附帯する業務の実施

【一般競争入札】

B. 民間企業(4社)  
82百万円  
(校舎施設の修繕等のための契約)



【随意契約】

C. 民間企業(1社)  
1百万円  
(校舎施設の修繕に係る設計等のための契約)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(独)航空大学校					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	施設整備に必要な経費	84			
計		84	計		0
B.(株)鴻池組					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	航空大学校仙台分校屋上及び外壁補修その他工事	75			
計		75	計		0
C.(有)コラム設計					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	航空大学校学生寮室照明器具交換等工事 実施設設計業務委託	0.5			
計		0.5	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

### A. (独)航空大学校

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)航空大学校	航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事する者を養成すること並びにこれらに附帯する業務の実施	84	-	-

### B. 民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)鴻池組東北支店	航空大学校仙台分校屋上及び外壁補修その他工事	74.9	3社	97.8
2	(株)河野弘建設	航空大学校学生寮室照明器具交換等工事	4.8	3社	70.2
3	(有)エンジニア総合事務所	航空大学校仙台分校屋上及び外壁補修その他工事实施設計業務委託	1.8	6社	17.7
4	(株)日総建 仙台事務所	航空大学校仙台分校屋上及び外壁補修その他工事監理業務委託	1.4	2社	56.3

### C. 民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)コラム設計	航空大学校学生寮室照明器具交換等工事实施設計業務委託	0.5	随意契約	-
2		航空大学校学生寮室照明器具交換等工事監理業務委託	0.2	随意契約	-